

Shin-ya新聞 — サブリー —

第24号(通算49号)

詳しい活動は
こちらからLINE公式
アカウント

～新年の挨拶～

皆様、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

政治家の役割とは決断をし、責任を取ることである。だからこそあらゆる局面で決断をするだけの基礎力がなければならぬし、それを含め有権者には個人としての人格が理解されていなければいけないと思う。目標を共有する政治家が政党を形成し、政党は選挙ごとに当選させたい候補者に対して選挙の協力を他の政党に求め、国民に訴える。

この順番を守れば小異を捨てて大同につくと判断され、順番が逆になれば国民は野合と判断する。国民には今の野党間の議論がどちらなのかおおよそ判断がついている。選挙戦略でたとえ多くの議席を持ち得てもそのバブルが長続きしない事を私どもは既に経験し、その反省に立って歩んでいる筈である。

皆様とご家族のこの1年のご多幸をお祈りしつつ、これまで同様変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



- ◆参議院
厚生労働委員会 理事
政治倫理の確立及び
選挙制度に関する特別委員会 筆頭理事
- ◆国民民主党
組織委員長
社会保障調査会 顧問
税制調査会副会長
大分県連代表
- ◆筑波大学 客員教授

足立信也

2019年後期 写真で振り返る大分での活動

9月



令和元年度 大分県戦没者追悼式



関の鯛つりおどり大会



戸次 門前地区敬老会



大分大学創立70周年記念式典



上戸次小学校大運動会・相撲大会



第4回竹中地区公民館まつり



川床熊野神社秋季大祭開会式

国民民主党大分県連夏期研修会
「時局講演会」

戸次地区グラウンドゴルフ大会



第35回戸次地区体育祭

健康といやしの里づくり
「吉野ふれあい いも掘り大会」第10回日本ジオパーク全国大会
2019おおいた大会

11月



第15回大野川合戦まつり神事・開会式



大分県保険医協会第36回定期総会



第49回大分県技能祭開会式

道の駅「のつはる」
登録証伝達及び開駅式

12月

2019年後期 東京での活動(一部抜粋)

◆厚生労働委員会 11月14日(木)

議員立法「ハンセン病元患者家族に対する補償金の支給等に関する法律案」「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律の一部を改正する法律案」

ハンセン病元患者家族への国家賠償責任を認めた熊本地裁判決が確定したことを踏まえ、党内でも元患者、家族、弁護団らのヒアリングを行い、ハンセン病で隔離、差別を受けた元患者家族に対し、最大180万円を補償する法案と名誉回復のための法案を議員立法で作成し、両案を一括審議しました。質疑に先立ち12日には国立療養所多磨全生園、国立ハンセン病資料館を委員会視察をしました。



◆厚生労働委員会 11月21日(木)

『医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全の確保等に関する法律等の一部を改正する法律案(薬機法)』

2013年に薬事法から薬機法に改正した際、医療機器の分野を別建てにし、再生医療を安全に推進していくという極めて大きな改正案の原案作りに関わった。

①「先駆け審査指定制度」と「条件付早期承認制度」についての例示、代表例、評価、②今回認定となる「地域連携薬局」と「専門医療機関連携薬局」について、また従来からの「健康サポート薬局」との違いについて、③「テレビ電話等による服薬指導」を「オンライン服薬指導」と言葉を統一すべきではないか等、質問し、その日から「オンライン服薬指導」に統一されました。



共同会派税制調査会・財金・経産合同部会



議員総会



地方自治体議員フォーラム(大阪)



◆第11回政策フォーラム 12月4日(水) 『現代政治のマトリクス-リベラル保守の可能性』

昨年10月11日に政治家としての師である仙谷由人氏が亡くなりました。仙谷さんが国立がんセンターで胃癌の手術を受けた2年後に私は初出馬しました。手術を機に彼は医療現場の現実と直面し、その後、医療や社会保障分野の改革に傾注され、多くの分野を私に託されました。仙谷さんにはこの政策フォーラムにも可能な限り出席して頂きましたが、どうしても昨年は開催する気力がわかず、休ませていただきました。

今回は政治の原点に立ち返って、現在の政治の状況を東京工業大学リベラルアーツ研究教育院の中島岳志教授に客観的に語ってもらいました。今の政治の在り方、歴史、政党の位置づけやリベラル保守等についてわかりやすい説明で、ご参加の皆さまに大変喜ばれました。



QRコード(動画)



◆国立競技場 見学会 12月15日(日)

国民民主党全国幹事会のあと、日本スポーツ振興センター事業として竣工された、国立競技場を見学しました。

